

高知県鏡川工業用水道事業の紹介

○事業の概要

鏡川工業用水道事業は、鏡川総合開発の一環として計画され、地下水の汲みあげによって海水の浸入がはなはだしかった高知市港地区の臨海工業地域に工業用水を供給するとともに、工場増設等の促進を図る目的で建設したものです。

建設工事は給水能力55,800m³/日の計画をもって昭和39年4月に着手（国庫補助事業）し、昭和41年11月から一部給水を開始しつつ、昭和44年3月をもって完了しました。その後、新たな需要を背景に、仁井田・北タナスカ地区への配水管延長及び港地区への配水管増設を行いました。

○施設の概要

鏡ダム（多目的ダム、所在河川名＝鏡川水系鏡川）を経て高知市鴨部の廓中堰付近まで来た流水を伏流水として取水した後、約12.6kmの配水管を通じて、筆山配水池から高知市の港地区、棧橋地区、弘化台地区、仁井田地区、北タナスカ地区の工場などへ給水している。

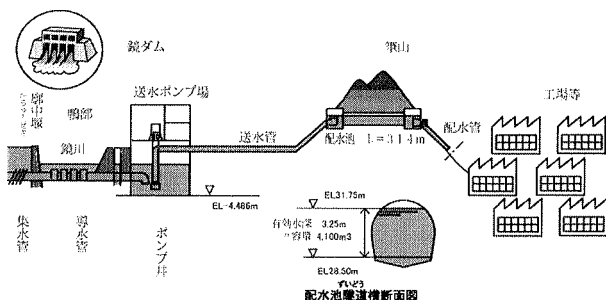
ダム建設等負担割合

区分	事業費（千円）	負担率（％）
治水	1,297,120	81.07(80.33)
上水道	186,560	11.66(12.09)
工業用水道	95,520	5.97(6.28)
発電	20,800	1.30
計	1,600,000	100.00

※数値は、計画完了時の昭和43年度現在負担率（ ）内の数値は、高知分水事業の完成による再アロケ

(H.P <http://www.pref.kochijp/~kigyou/>)

鏡川工業用水道 施設概要図



○業種別給水状況

(平成20年3月契約分)

業種	件数	契約水量m ³ /日
食品	15	1,924
土石	8	2,564
セメント・生コン	5	1,843
化学	2	6,480
木材	2	200
造船	2	750
リサイクル品	2	268
その他工業用水	7	8,455
雑用水	15	5,888
計	58	28,374

鏡ダムの諸元

ダム諸元（所在河川名＝鏡川水系鏡川）

(ダムの)位置	左岸：高知市鏡大立 右岸：高知市鏡今井
型式	重力コンクリート式
堤高	47.0m
堤頂長	150.0m
堤体積	72,000m ³
地質	輝緑凝灰岩、砂岩、泥岩
集水面積	80.8km ²
総貯水容量	9,380,000m ³

鏡川工業用水道 管路図

